

平成27年度

# 当初予算の概要

---

平成27年度 当初予算の基本的方向	1		
Ⅰ 会計別当初予算の編成状況	2		
Ⅱ 一般会計当初予算の概要	4		
1 歳入の特徴	6	【一般会計当初予算グラフ】	9
2 歳出の特徴	8	【資料編】	10
当初予算主要事業	12		
1 大竹を愛する人づくり	12	6 行政・社会の仕組みづくり	24
2 生活基盤が整ったまちづくり	13	◎ 平成27年度生活環境整備実施MAP	26
3 安全なまちづくり	17	◎ 各施設のご案内	27
4 安心できるまちづくり	19	問い合わせ先一覧	30
5 心にゆとりを感じるまちづくり	23		

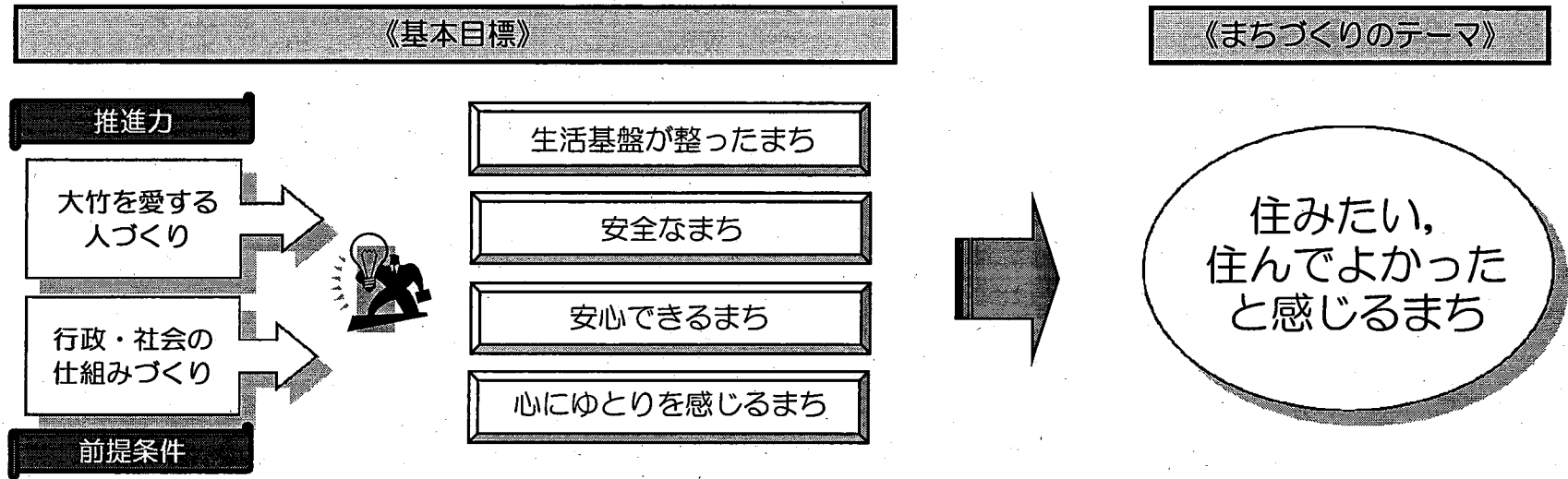
---

大 竹 市



# 平成27年度当初予算の基本的方向

1 第五次大竹市総合計画では、基本構想において「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をまちづくりのテーマとして設定しています。市民のみなさんが考える「よいまち」の実現に向けた施策を展開していきます。



2 予算編成にあたっては、第五次総合計画に掲げる「よいまち」を目指し、前期基本計画の推進のために必要な事業を継続的に行うことを基本方針として編成しました。

普通建設事業などの大規模な事業については、駐留軍等再編交付金をはじめとする財源を有効に活用しつつ、将来的に安定したまちづくりのための財政の枠組みを保つ行政運営を行います。

## I 会計別当初予算の編成状況

一般会計の予算規模は、142億2,413万円で、前年度に比べ4.8%の増となりました。また、7つの特別会計の合計は、81億397万7千円で、前年度に比べ3.2%の増となりました。一般会計と特別会計の合計は223億2,810万7千円で、前年度に比べ4.2%の増となっています。

一般会計は、晴海臨海公園整備（I期分）事業などの大規模事業が終了したものの、玖波小学校施設整備事業や御園市営住宅整備事業など建設事業の増に加え、子ども・子育て支援新制度による民間保育所等への給付費の増などにより、全体では前年度比4.8%増の予算となりました。

### ◎◎◎ 会計別予算 ◎◎◎

単位：千円，%

	27年度	26年度	対前年度比	
			増減額	増減率
一般会計	14,224,130	13,572,848	651,282	4.8
特別会計	8,103,977	7,855,567	248,410	3.2
1 国民健康保険特別会計	4,301,686	3,821,324	480,362	12.6
2 漁業集落排水特別会計	31,287	31,339	▲ 52	▲ 0.2
3 農業集落排水特別会計	48,773	46,057	2,716	5.9
4 港湾施設管理受託特別会計	54,115	45,954	8,161	17.8
5 土地造成特別会計	717,163	835,784	▲ 118,621	▲ 14.2
6 介護保険特別会計	2,531,523	2,664,866	▲ 133,343	▲ 5.0
7 後期高齢者医療特別会計	419,430	410,243	9,187	2.2
合計	22,328,107	21,428,415	899,692	4.2

### 《企業会計》

単位：千円，%

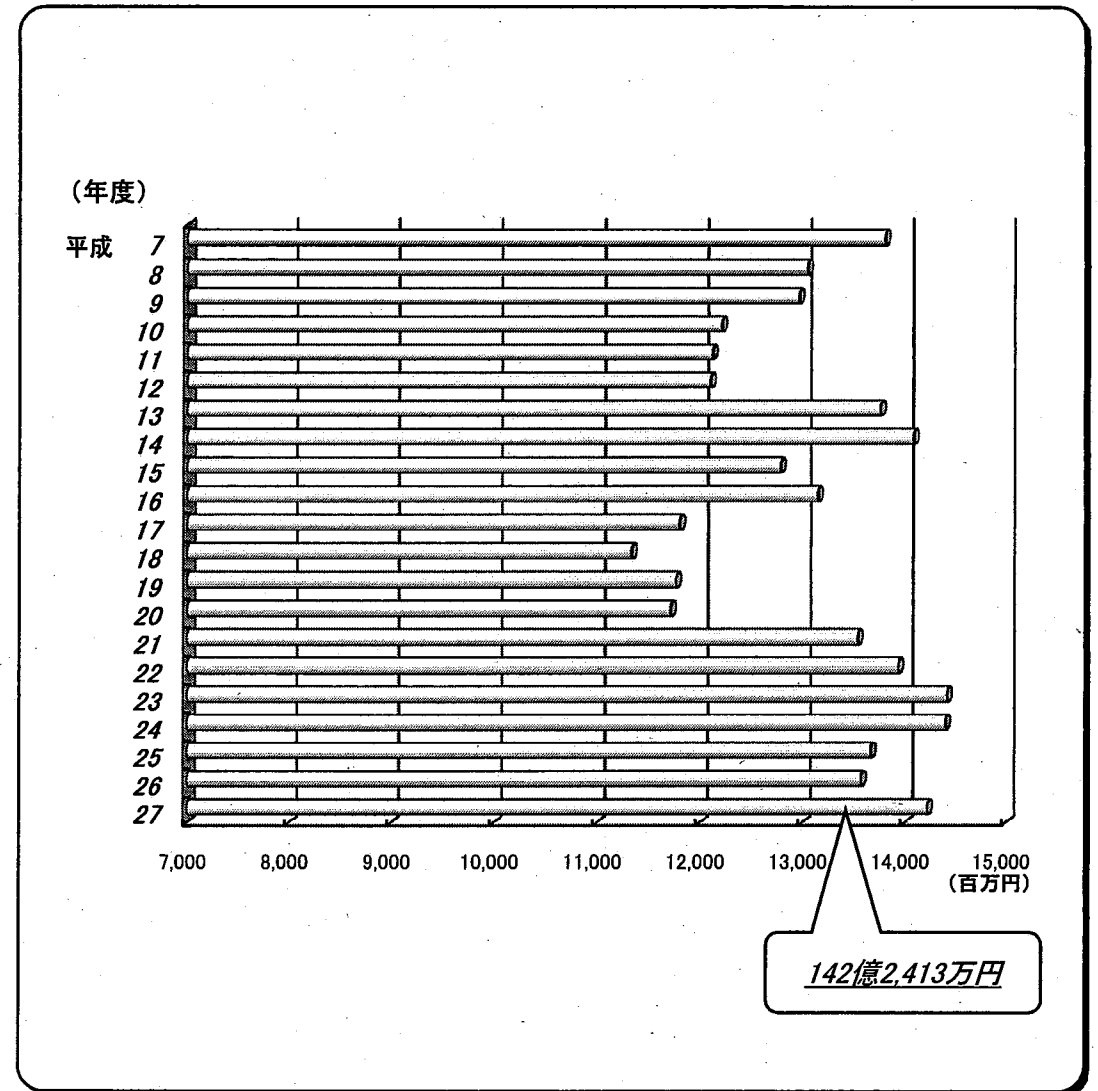
		27年度	26年度	対前年度比	
				増減額	増減率
水道事業会計					
収益的	収入	568,251	570,430	▲ 2,179	▲ 0.4
	支出	557,513	621,278	▲ 63,765	▲ 10.3
資本的	収入	85,850	52,775	33,075	62.7
	支出	224,488	171,610	52,878	30.8
工業用水道事業会計					
収益的	収入	556,733	554,741	1,992	0.4
	支出	531,864	576,320	▲ 44,456	▲ 7.7
資本的	収入	322,281	213,901	108,380	50.7
	支出	589,908	467,721	122,187	26.1
公共下水道事業会計					
収益的	収入	1,001,956	1,015,279	▲ 13,323	▲ 1.3
	支出	953,284	934,552	18,732	2.0
資本的	収入	652,217	282,568	369,649	130.8
	支出	909,920	575,253	334,667	58.2

# 【一般会計当初予算の推移】

単位:千円, %

年度	当初予算規模	対前年度伸び率	《参考》最終予算額
7	13,803,861	▲ 0.6	14,581,664
8	13,048,192	▲ 5.5	14,050,875
9	12,965,635	▲ 0.6	13,223,610
10	12,211,020	▲ 5.8	14,427,535
11	12,121,383	▲ 0.7	14,456,844
12	12,102,194	▲ 0.2	12,324,258
13	13,761,143	13.7	15,373,572
14	14,087,867	2.4	14,265,959
15	12,786,158	▲ 9.2	12,032,324
16	13,148,777	2.8	13,364,554
17	11,803,360	▲ 10.2	12,440,260
18	11,338,627	▲ 3.9	11,692,281
19	11,770,193	3.8	12,269,904
20	11,716,260	▲ 0.5	12,798,330
21	13,541,552	15.6	15,270,309
22	13,939,452	2.9	14,545,921
23	14,417,001	3.4	14,995,090
24	14,400,188	▲ 0.1	14,999,838
25	13,669,310	▲ 5.1	14,068,289
26	13,572,848	▲ 0.7	※ 14,008,526
27	14,224,130	4.8	—

※ 3月補正後の見込み額を計上



## Ⅱ 一般会計当初予算の概要

### ◎◎◎ 歳入予算(一般会計) ◎◎◎

単位:千円, %

	27年度		構成比	26年度	対前年度比	
					増減額	増減率
1 市 税	5,086,144	35.8		5,350,667	▲ 264,523	▲ 4.9
2 地 方 譲 与 税	72,101	0.5		70,683	1,418	2.0
3 利 子 割 交 付 金	9,276	0.1		10,818	▲ 1,542	▲ 14.3
4 配 当 割 交 付 金	29,103	0.2		13,737	15,366	111.9
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	14,744	0.1		4,313	10,431	241.9
6 地 方 消 費 税 交 付 金	500,625	3.5		335,965	164,660	49.0
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	12,549	0.1		13,241	▲ 692	▲ 5.2
8 地 方 特 例 交 付 金	14,880	0.1		12,983	1,897	14.6
9 地 方 交 付 税	1,415,288	9.9		1,244,275	171,013	13.7
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	5,229	0.0		4,946	283	5.7
11 分 担 金 及 び 負 担 金	231,836	1.6		245,945	▲ 14,109	▲ 5.7
12 使 用 料 及 び 手 数 料	293,764	2.1		302,838	▲ 9,074	▲ 3.0
13 国 庫 支 出 金	2,066,453	14.5		1,879,100	187,353	10.0
14 県 支 出 金	692,008	4.9		674,300	17,708	2.6
15 財 産 収 入	93,521	0.7		85,428	8,093	9.5
16 寄 附 金	4	0.0		4	0	0.0
17 繰 入 金	870,036	6.1		840,070	29,966	3.6
18 繰 越 金	1	0.0		1	0	0.0
19 諸 収 入	528,549	3.7		526,192	2,357	0.4
20 市 債	2,288,019	16.1		1,957,342	330,677	16.9
合 計	14,224,130	100.0		13,572,848	651,282	4.8

第五次総合計画の基本構想で掲げるまちづくりのテーマ「住みたい、住んでよかったと感じるまち」の基本目標として、「生活基盤が整ったまち」「安全なまち」「安心できるまち」「心にゆとりを感じるまち」づくりに向けた施策を中心に編成しました。

玖波小学校施設整備事業や御園市営住宅整備事業など投資的経費の増に加え、子ども・子育て新制度による施設型給付費や障害福祉サービス給付費など扶助費の増などにより、予算総額は前年度比4.8%の増となりました。

厳しい財政状況の中で、大規模な建設事業には国・県の補助金・交付金などを活用しながら、地方債の発行額を圧縮し、将来に過度な負担を残さないよう努めています。

また、一般会計から土地造成特別会計への支援を、平成18年度から行っています。平成27年度も引き続き、大竹工業団地及び小方ヶ丘団地からの税収を財源とする支援と従来支援分に加え、土地造成特別会計に関連のある土地売払収入の一部を土地造成特別会計に繰り出すことによる、特別会計の財政の健全化を図るなどの「行政・社会の仕組みづくり」についても、これまでと同様に続けていきます。

◎◎◎ 歳出予算(一般会計)(目的別内訳) ◎◎◎

単位:千円, %

	27年度		26年度	対前年度比	
		構成比		増減額	増減率
1 議会費	206,600	1.5	197,549	9,051	4.6
2 総務費	1,593,860	11.2	1,493,876	99,984	6.7
3 民生費	4,031,509	28.3	4,096,329	▲ 64,820	▲ 1.6
4 衛生費	1,038,209	7.3	1,098,542	▲ 60,333	▲ 5.5
5 労働費	120,102	0.8	135,850	▲ 15,748	▲ 11.6
6 農林水産業費	213,511	1.5	239,236	▲ 25,725	▲ 10.8
7 商工費	255,550	1.8	263,930	▲ 8,380	▲ 3.2
8 土木費	2,186,511	15.5	2,530,566	▲ 344,055	▲ 13.6
9 消防費	570,816	4.0	513,929	56,887	11.1
10 教育費	1,870,437	13.1	915,179	955,258	104.4
11 災害復旧費	5	0.0	5	0	0.0
12 公債費	2,117,020	14.9	2,067,857	49,163	2.4
13 予備費	20,000	0.1	20,000	0	0.0
合計	14,224,130	100.0	13,572,848	651,282	4.8

▼▲▼ 歳出の性質別分析(一般会計)▼▲▼

単位:千円, %

	27年度		26年度	対前年度比		
		構成比		増減額	増減率	
義務的経費計	人件費	2,439,635	17.2	2,423,619	16,016	0.7
	扶助費	2,269,303	16.0	2,162,730	106,573	4.9
	公債費	2,117,020	14.9	2,067,857	49,163	2.4
	義務的経費計	6,825,958	48.1	6,654,206	171,752	2.6
投資的経費計	普通建設事業費	2,280,574	16.0	1,863,512	417,062	22.4
	うち補助事業	657,413	4.6	565,658	91,755	16.2
	うち単独事業	1,623,161	11.4	1,297,854	325,307	25.1
	災害復旧事業費	5	0.0	5	0	0.0
投資的経費計	2,280,579	16.0	1,863,517	417,062	22.4	
その他の経費計	物件費	1,781,242	12.5	1,950,939	▲ 169,697	▲ 8.7
	維持補修費	239,575	1.7	248,679	▲ 9,104	▲ 3.7
	補助費等	908,749	6.4	942,860	▲ 34,111	▲ 3.6
	繰出金	1,361,358	9.6	1,312,960	48,398	3.7
	投資及び出資金	0	0.0	0	0	0.0
	貸付金	388,855	2.7	392,663	▲ 3,808	▲ 1.0
	積立金	417,814	2.9	187,024	230,790	123.4
	予備費	20,000	0.1	20,000	0	0.0
その他の経費計	5,117,593	35.9	5,055,125	62,468	1.2	
合計	14,224,130	100.0	13,572,848	651,282	4.8	

# 1 歳入の特徴

【一般財源】 対前年度 88.7百万円増(+1.0%)

単位:百万円, %

◎ 国の示した27年度の地方財政計画では、一般財源総額を2.0%の増としています。

◎ 大竹市では、27年度の市税と地方交付税(臨時財政対策債を含む)の合計は、地方交付税が増加したものの、市税が減少し、合計額では前年度比0.7%の減となりました。

	27年度	26年度	増減率
市税	5,086.1	5,350.7	▲ 4.9
地方交付税	1,415.3	1,244.3	13.7
臨時財政対策債	925.0	885.9	4.4
小計	7,426.4	7,480.9	▲ 0.7
その他	1,180.2	1,037.0	13.8
一般財源総額	8,606.6	8,517.9	1.0

◎ 一般財源の総額は、地方消費税交付金の増などの影響により26年度に比べ1.0%の増となる見込みです。(この一般財源総額のうち、「貯蓄の取り崩し」にあたる財政調整基金と減債基金からの繰入金383百万円(26年度は441百万円)を除くと1.8%の増となります。)

【地方交付税】 対前年度 171百万円増(+13.7%)

◎ 国の示した27年度の地方財政計画では、地方交付税は前年度比0.8%の減となっています(地方税などを合わせた一般財源は2.0%の増)。

◎ 大竹市の地方交付税は、市税の減収などの影響により26年度に比べ13.7%の増を見込んでいます。

【市 税】 対前年度 264.6百万円減(▲4.9%)

単位:百万円, %

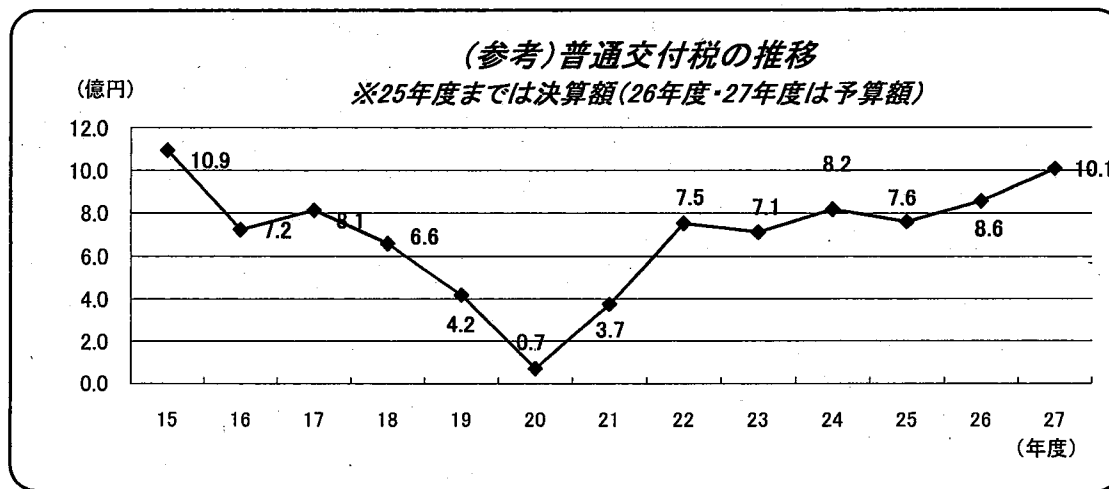
◎ 27年度の市税は、軽自動車税、市たばこ税の増はあるものの、固定資産税、法人市民税などの減により26年度に比べ4.9%の減と見込んでいます。

◎ 法人市民税は、26年度に比べ8.6%の減となる見込みです。

◎ 固定資産税は、市内企業の設備投資が減少したため、26年度に比べ6.9%の減となる見込みです。

	27年度	26年度	増減率
市民税(個人)	1,269.0	1,275.6	▲ 0.5
(法人)	368.5	403.2	▲ 8.6
固定資産税	3,053.2	3,278.7	▲ 6.9
軽自動車税	55.6	53.3	4.3
市たばこ税	199.4	195.4	2.0
都市計画税	140.4	144.5	▲ 2.8
市税合計	5,086.1	5,350.7	▲ 4.9

※資料編(P10)に市税収入の推移のグラフあり





【市債】 対前年度 330.7百万円増(+16.9%)

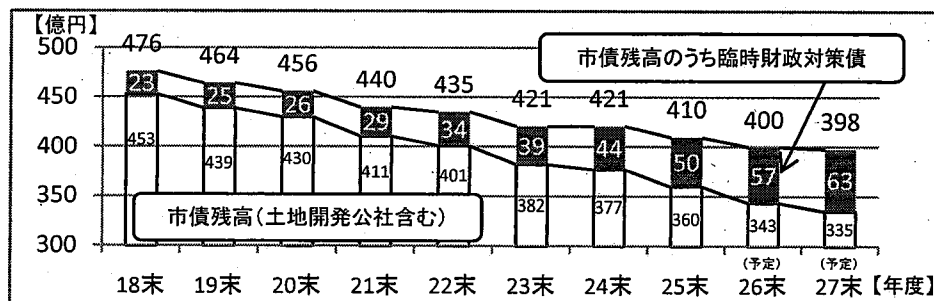
単位:百万円, %

◎ 玖波駅西口整備事業などの市債が減少したものの、玖波小学校施設整備事業債や地方交付税の補てん分として発行する臨時財政対策債などが増加したため、前年度比16.9%の増となりました。

なお、土地開発公社を含めた市債残高の合計は、下記のとおりです。

	27年度	26年度	増減率
通常債(建設債)	1,363.0	1,071.4	27.2
臨時財政対策債	925.0	885.9	4.4
市債合計	2,288.0	1,957.3	16.9

※資料編(P11)に市債発行額(普通会計)、市債残高(普通会計)の推移のグラフあり



【基金繰入金】 対前年度 20.7百万円増(+2.5%)

単位:百万円, %

◎ 「市の純粋な貯蓄」というべき財政調整基金と減債基金の残高合計は、25年度末で約1,153.4百万円です。なお、27年度当初予算では、合計で383.1百万円の取り崩しを見込んでいます。

	27年度	26年度	増減率
財政調整基金	55.1	110.7	▲ 50.2
減債基金	328.0	330.0	▲ 0.6
その他の基金	462.4	384.1	20.4
基金繰入金合計	845.5	824.8	2.5

※資料編(P10)に財政調整基金残高の推移のグラフあり

◎ 再編交付金をもとに積み立てた各種基金(阿多田診療所基金、にこにこ子ども基金、健やか安心基金、高度情報化基金、教育環境充実基金、公共交通活性化基金)についても、貴重な財源として計画的に活用します。その他、特定の目的のために使うことができる基金についても計画的に活用します。

【その他の主な歳入の増減】

国庫支出金 (増の要因)  
187.4百万円増  
(+10.0%)

- ・再編交付金の増
- ・学校施設環境改善交付金の皆増
- ・防衛施設周辺防音事業国庫補助金の皆増
- ・社会資本整備総合交付金の増

(減の要因) ・防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金の皆減

県支出金 (増の要因)  
17.7百万円増  
(+2.6%)

- ・国民健康保険基盤安定県負担金の増
- ・広島県議会議員選挙費県負担金の増

(減の要因) ・安心子ども基金特別対策事業費県補助金の減  
・緊急雇用対策基金事業県補助金の皆減

## 2 歳出の特徴

### 《性質別分析》

【義務的経費】 対前年度 171.7百万円増(+2.6%)

単位:百万円, %

◎ 人件費は、国勢調査の調査員報酬の増などにより、前年度と比べ0.7%増加しています。

	27年度	26年度	増減率
人件費	2,439.6	2,423.6	0.7
扶助費	2,269.3	2,162.7	4.9
公債費	2,117.0	2,067.9	2.4
義務的経費計	6,825.9	6,654.2	2.6

※資料編(P10, 11)に人件費及び公債費の推移のグラフあり

◎ 扶助費は、子ども・子育て新制度による施設型給付費や障害福祉サービス給付費などの増加により、前年度と比べ4.9%増加しています。

◎ 公債費は、24年度に発行した給食センター建設事業債や臨時財政対策債などの元金償還の開始により、前年度と比べ2.4%増加しています。

【投資的経費】 対前年度 417.1百万円増(+22.4%)

単位:百万円, %

◎ 投資的経費は、玖波小学校施設整備事業や御園市営住宅整備事業などの増により、前年度比22.4%の増となっています。

	27年度	26年度	増減率
普通建設事業費	2,280.6	1,863.5	22.4
うち補助事業	657.4	565.7	16.2
うち単独事業	1,623.2	1,297.8	25.1
災害復旧事業費	0.0	0.0	0.0

※資料編(P11)に投資的経費の推移のグラフあり

◎ 市道の整備・改良事業については、優先順位に基づき計画的に実施しています。

◎ 投資的事業については、後年度の負担が過度に増加しないように考慮しつつ、必要な新規事業は財源を確保した上で取り組む方針です。

### 《目的別内訳》

議会費 [増の要因] ・議員共済組合負担金の増

9.1百万円増  
(+4.6%)

総務費 [増の要因] ・番号制度システム整備事業費の増  
・公共交通活性化基金積立金の増  
・市議会議員選挙費の皆増  
・市議会議員選挙費の増  
[減の要因] ・戸籍総合システムデータ移行業務委託料の皆減  
・市長選挙費、農業委員会委員選挙費の皆減

100.0百万円増  
(+6.7%)

民生費 [増の要因] ・子ども・子育て施設型給付費の増  
・障害福祉サービス給付費の増

64.8百万円減  
(▲1.6%)

[減の要因] ・ゆうあいの里屋根防水・外壁改修工事の皆減  
・臨時福祉給付金支給事業の減  
・子育て世帯臨時特例給付金支給事業の減

衛生費 [増の要因] ・可燃ごみ広域処理事業負担金の皆増

60.3百万円減  
(▲5.5%)

[減の要因] ・健やか安心基金積立金の減  
・斎場火葬炉設備改修工事の減

労働費 [減の要因] ・緊急雇用対策事業の皆減

15.7百万円減  
(▲11.6%)

農林水産業費 [増の要因] ・養殖漁業技術開発支援事業補助金の増

25.7百万円減  
(▲10.8%)

[減の要因] ・阿多田地区水産業基盤整備工事の皆減

商工費 [減の要因] ・産業振興奨励金の減

8.4百万円減  
(▲3.2%)

土木費 [増の要因] ・御園市営住宅整備工事の増  
・さかえ公園改修工事の増

344.1百万円減  
(▲13.6%)

[減の要因] ・恵川橋橋りょう修繕工事の増  
・晴海臨海公園整備事業の皆減  
・玖波駅西口整備事業の皆減

消防費 [増の要因] ・消防救急デジタル無線整備負担金の増  
・防災行政無線改修・整備工事の皆増

56.9百万円増  
(+11.1%)

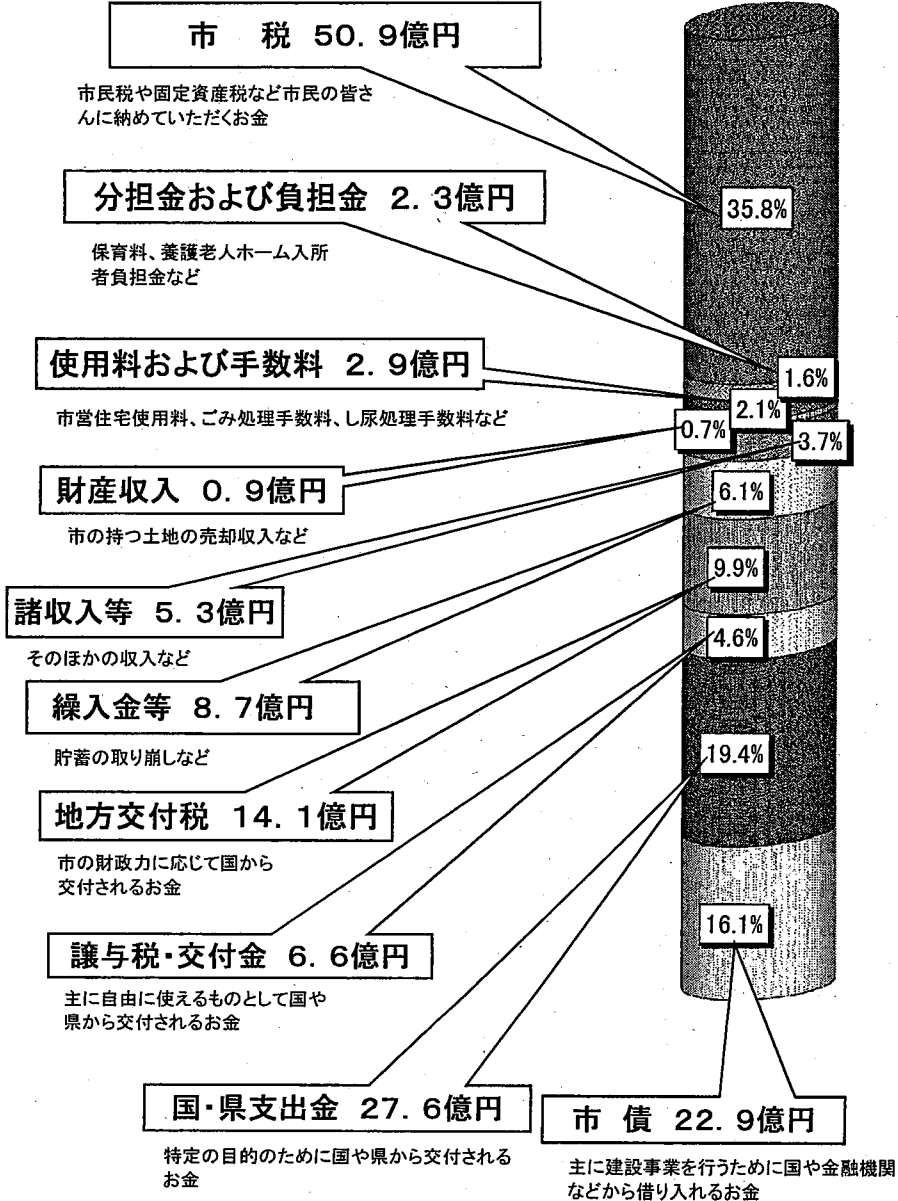
[減の要因] ・ポンプ付救助工作車の皆減

教育費 [増の要因] ・玖波小学校施設整備事業の増  
・アゼリアホール天井改修工事の増

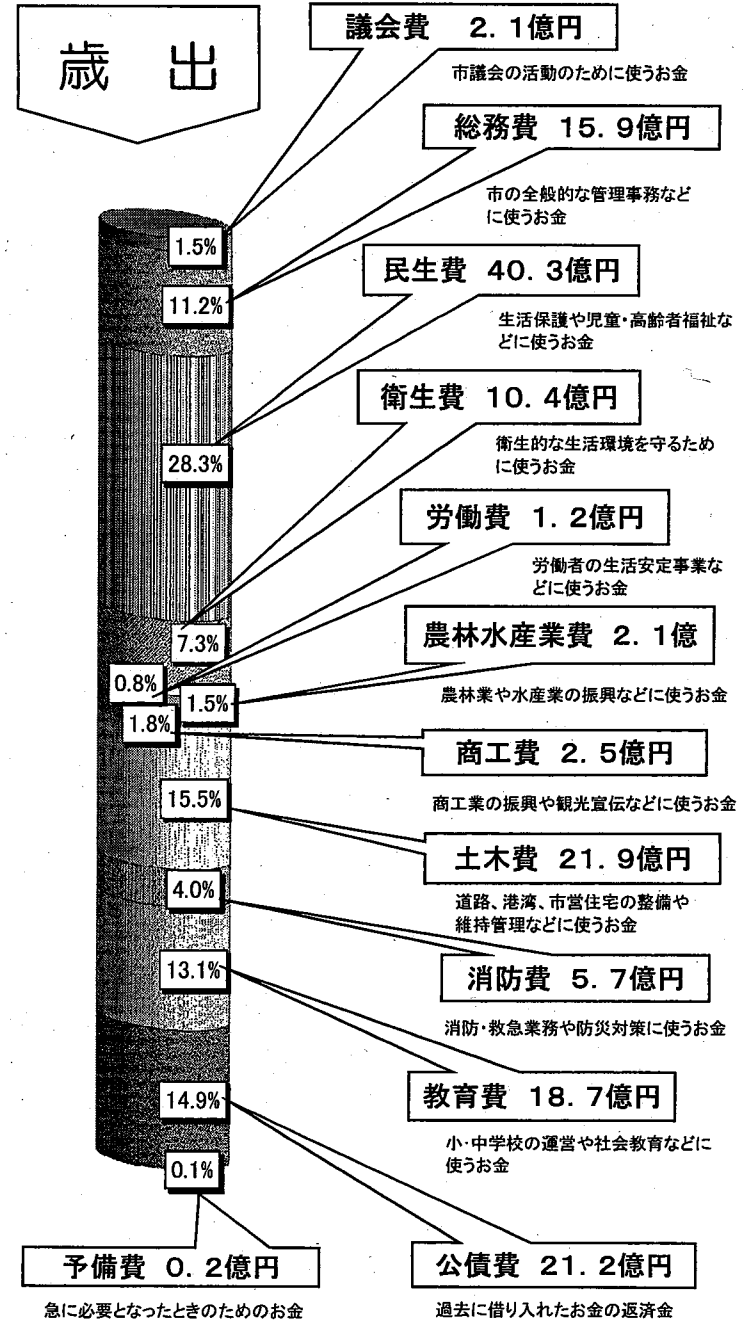
955.3百万円増  
(+104.4%)

# 一般会計当初予算 総額 142.2億円

## 歳入

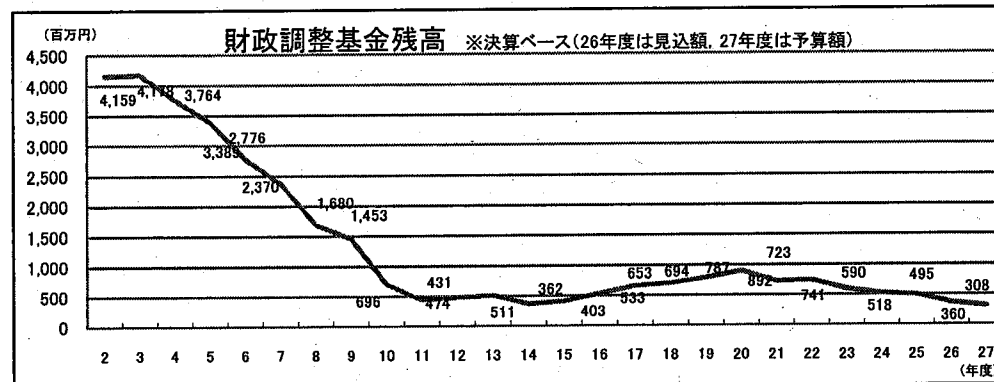
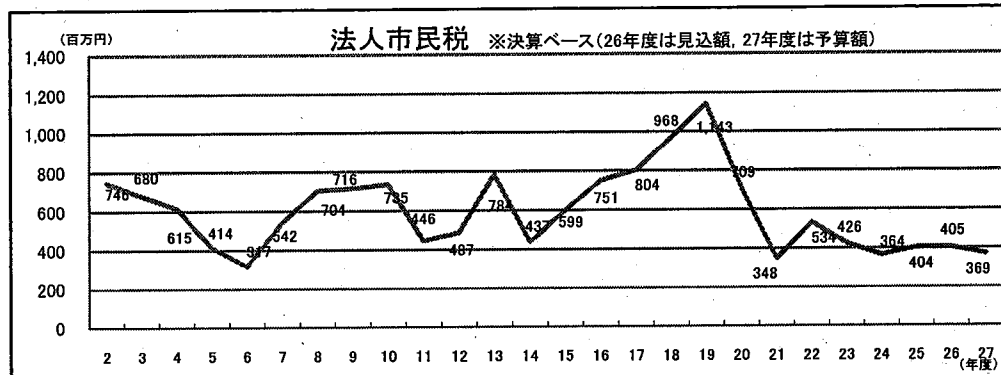
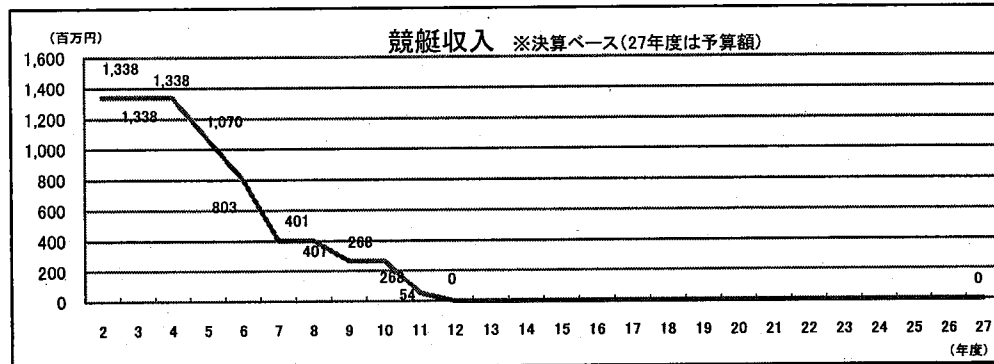
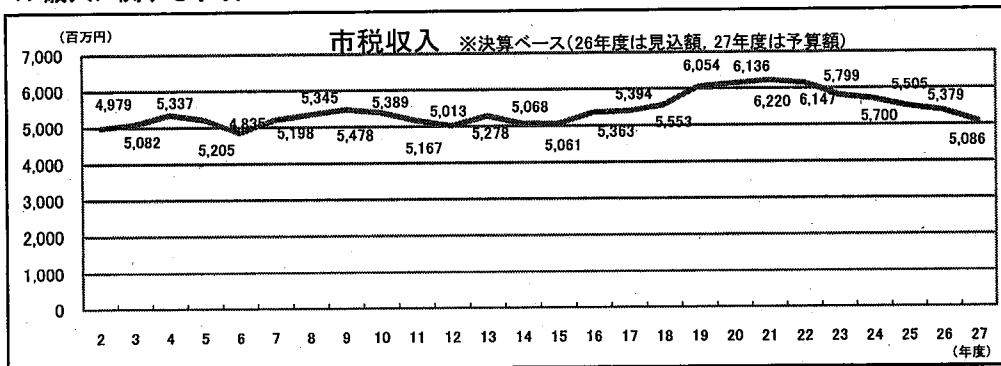


## 歳出

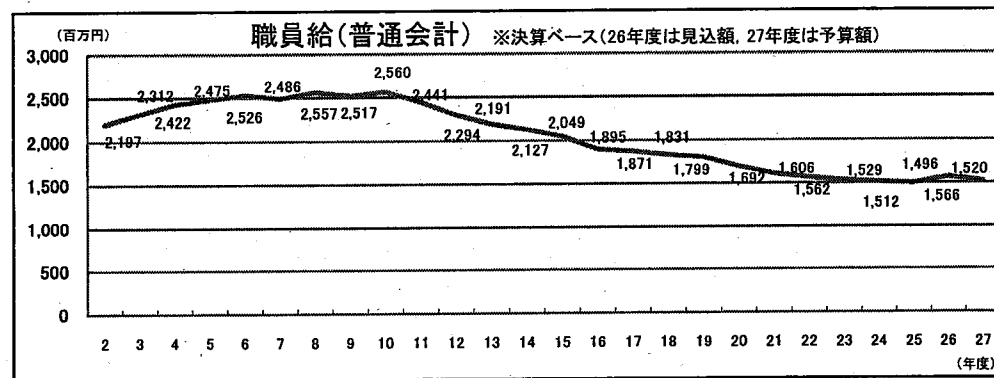
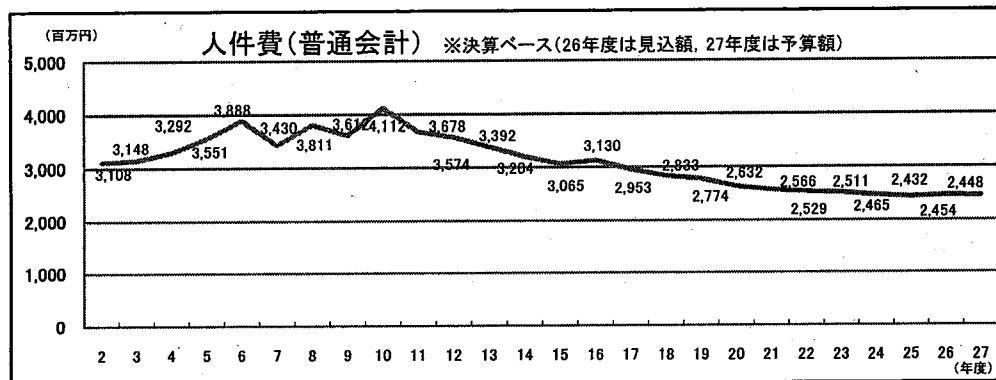


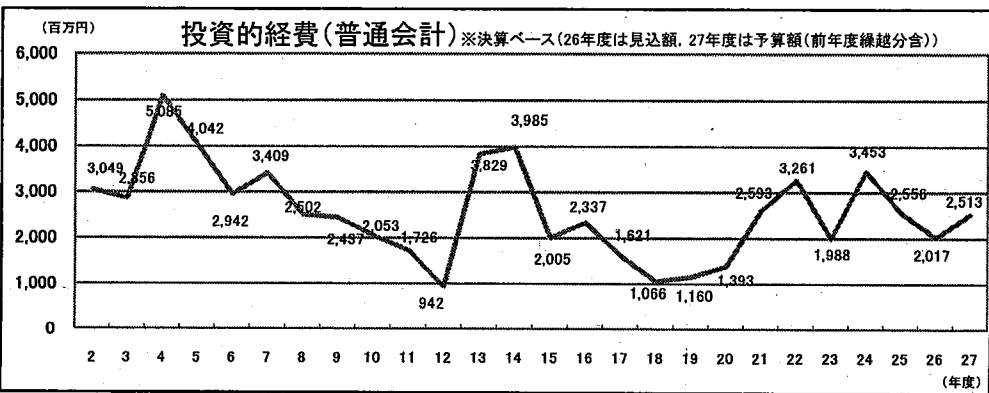
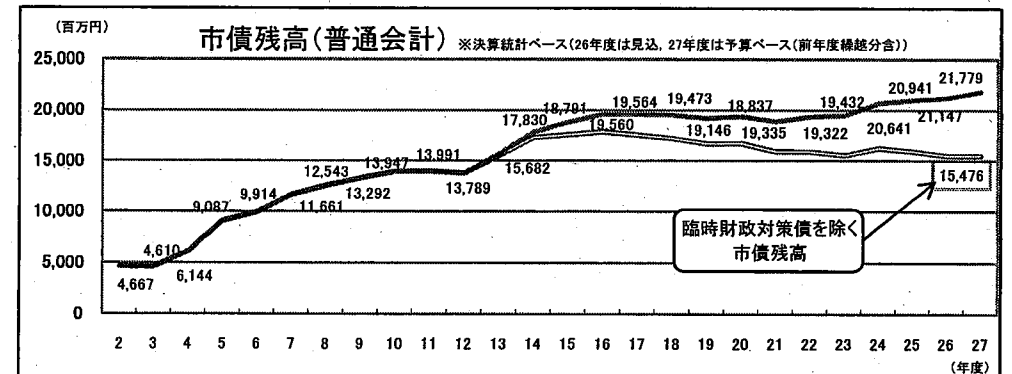
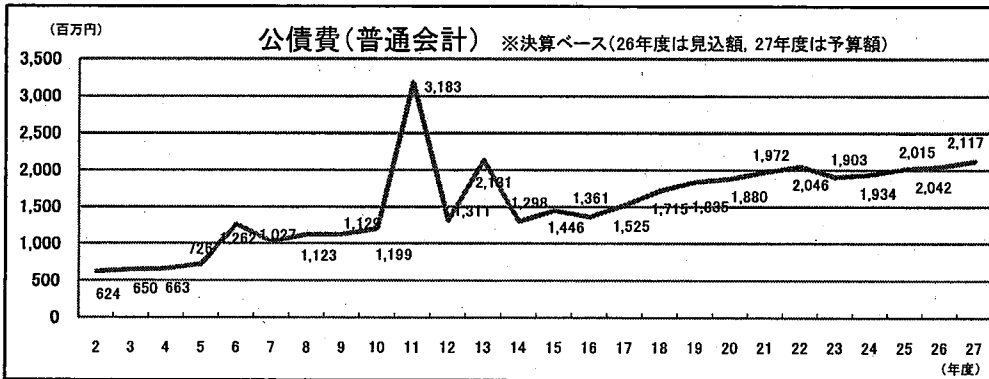
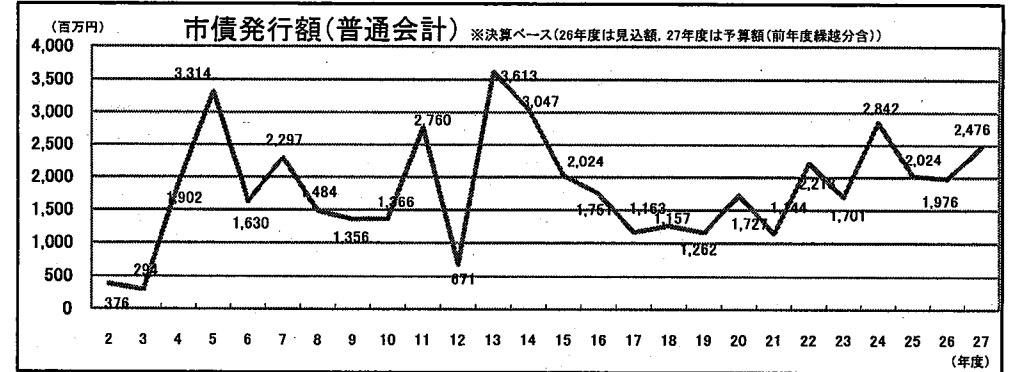
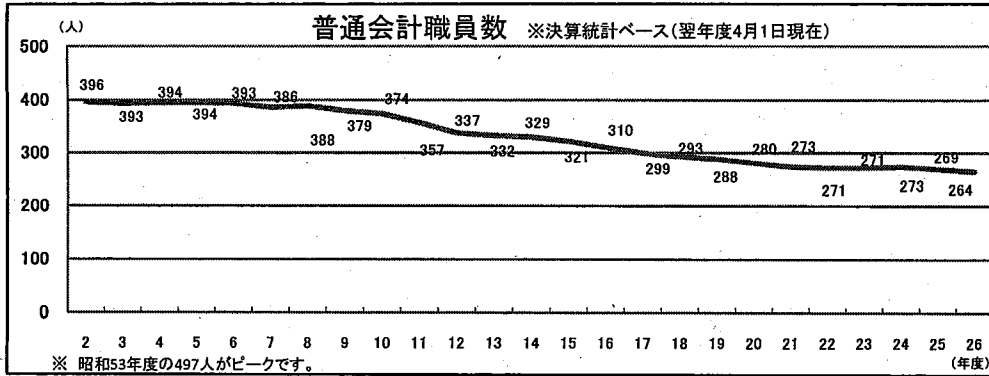
当初予算の概要 資料編(平成2年度～)

1. 歳入に関する事項

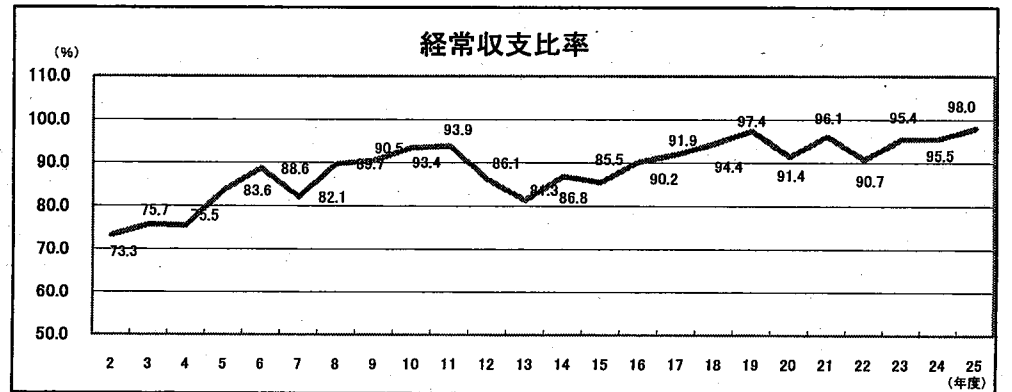


2. 歳出に関する事項





### 3. 財務指数に関する事項



# 当初予算主要事業

事業名に 新規 … 平成27年度に新規に行う事業です。  
事業名に 拡充 … 制度などが前年度と比較し拡充される事業です。

## 1 大竹を愛する人づくり

地域を担う人づくり

互いを尊重し、支え合う人づくり

### 新規 玖波小学校施設整備事業

736,886 千円 予算書 148～149 担当 総務学事課・生涯学習課

児童と教職員の安全と適切な教育環境を確保するため、玖波小学校に耐震対策を行います。  
平成27年度から平成28年度にかけて、小学校校舎の改築を行います。新校舎には、あすなる児童クラブを併設します。また、体育館（講堂）については、平成27年度に耐震補強を行います。  
※事業費には事務費を含みます。

※ 26 ページの「平成27年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください  
※ 平成28年度の事業費は予算書9ページ「継続費」に掲載しています

### 新規 図書館空調設備更新事業

13,650 千円 予算書 163 担当 生涯学習課

図書館利用者の環境改善のため、老朽化した空調設備を更新します。平成27年度は、基本設計及び実施設計を行います。  
※事業費には事務費を含みます。

### 拡充 放課後児童クラブ事業(放課後子ども総合プラン)

33,025 千円 予算書 156 担当 生涯学習課

保護者が仕事等で昼間家庭にいない児童について、3ヶ所の「放課後児童クラブ」において、放課後や長期休暇中、学校行事の代休日に遊びや生活指導を行い、仕事と子育ての両立支援を行います。  
平成27年度から、対象児童を小学校1～3年生から小学校1～6年生に広がります。

※ 27 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

### 読書活動推進事業

1,481 千円 予算書 142～143 担当 総務学事課

学校図書館に読書及び学習活動上の支援を行う「読書活動推進員」を配置することで、市内小中学校の読書及び学習環境を改善し、幅広い視野を持った心豊かな児童生徒の育成を図ります。

### 学習環境サポート事業

14,803 千円 予算書 142～143 担当 総務学事課

通常の学級に在籍する発達障害等のある児童生徒へのサポートのため、市内小中学校に学級支援員を配置します。

### 奨学金貸付事業

19,928 千円 予算書 142～143 担当 総務学事課

経済的な理由により修学の機会がなくなることを防ぐよう、学資の貸付を行います。  
平成24年度から、市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を新たに導入し、制度の充実を図っています。

## こども相談室運営事業

4,782 千円 予算書 144~145 担当 総務学事課

家庭などで問題を抱えながら生活している子ども・保護者に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活面での支援を行い自立への基礎を培います。

※ 27 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 放課後子ども教室事業(放課後子ども総合プラン)

2,800 千円 予算書 152 担当 生涯学習課

次世代を担う人材育成のため、地域や各種団体と連携し、「放課後子ども教室」を開催します。地域の方々の協力を得て、放課後や週末などを利用して、子どもたちに学習機会や体験活動の場を提供します。



## 2 生活基盤が整ったまちづくり

地域産業の振興

暮らしやすい生活基盤の整備

### 新規 玖波駅西口駅舎維持管理事業

1,896 千円 予算書 52 担当 自治振興課

玖波駅利用者の利便性を向上させるとともに、安全かつ快適に駅が利用できるよう、駅西口の改集札口となる駅舎施設の維持管理を鉄道業務に精通した業者に委託します。

### 新規 可燃ごみ広域処理事業

14,542 千円 予算書 100 担当 リサイクルセンター

可燃ごみの廿日市市との広域処理について、平成26年3月設置の「廿日市市・大竹市一般廃棄物広域処理検討連絡調整会議」を中心とした協議・検討を進め、両市による可燃ごみの処理に向けた諸事業の実施に取り組みます。

### 新規 恵川橋橋りょう修繕事業

57,750 千円 予算書 121 担当 土木課

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い恵川橋について、橋脚のうち1橋脚を更新します。  
※事業費には事務費を含みます。

※ 26 ページの「平成27年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 新規 さかえ公園改修事業

157,500 千円 予算書 129 担当 都市計画課

昭和46年の供用開始から40年以上経過し、公園施設は老朽化しています。平成25年度に利用者である地域住民の思いや意見・アイデアを取り入れるため、ワークショップを開催し、改修計画の検討を行いました。また、平成26年度には、この計画案を基に実施設計を行いました。平成27年度・28年度の2ヶ年で順次改修工事を行う予定です。

※事業費には事務費を含みます。

※ 26 ページの「平成27年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 新規 小方公民館大ホール解体等事業

11,000 千円 予算書 161 担当 生涯学習課

小方公民館の大ホール（体育館）が、国の岩国大竹道路事業の区域内となるため、解体等に必要設計を行います。

## 地域公共交通整備事業(総合連携計画部分)

44,740 千円 予算書 50~51 担当 自治振興課

市民、事業者、行政等で構成する大竹市地域公共交通活性化協議会で策定した「大竹市地域公共交通総合連携計画（第2期）」に基づき事業を展開します。

計画の基本方針である「住民自らが守り育てる」という視点を大切に、地域のみなさんと一緒に考えながら進めていきます。

具体的には、本格運行中の「こいこいバス」や「三ツ石地区乗合タクシー」をはじめ、既存の栗谷線・坂上線、広原・谷和地区タクシーへの助成を行います。また、実証運行中の3つのフィーダー（支線）交通（栄ぐるりんバス・湯舟のりあいタクシー・ひまわりタクシー）については、運行状況等を検証し、必要に応じて見直しを行います。

新たなフィーダー交通の検討・導入や既存路線の見直しなどを進めながら、市民生活の利便性の向上とまちの活性化に向けて、移動環境を整備します。

## ケーブルテレビ施設利用促進助成事業

1,500 千円 予算書 51 担当 企画財政課

定住対策に加え、「生活基盤が整ったまちづくり」推進のために整備した情報基盤をより有効に活用するため、ケーブルテレビへの加入に対する助成を行います。

また、市内での新築（建替含む）にあわせてケーブルテレビに新規加入する場合には、初期費用の一部を補助します。

## 斎場設備改修事業

11,140 千円 予算書 92 担当 環境整備課

安定した斎場の運営を行うため、老朽化した燃焼装置や配管などの火葬炉設備を改修します。

※事業費には事務費を含みます。

## ひろしま森づくり事業

15,932 千円 予算書 110~111 担当 産業振興課

県土の保全や水源かん養など森林の有する公益的な機能を持続的に発揮させるため、平成19年4月から広島県が導入した「ひろしまの森づくり県民税」を財源として、県民全体として森林を守り育てる事業を推進します。

平成27年度以降は、引き続き、人工林や里山林の整備、森林の間伐、間伐材を利用した製品の購入などを行います。また、昨年度から計画的に進めている森林資源を活用した散策コースの整備や鳥獣被害を削減・防止するためのバッファゾーン（緩衝地帯）整備も実施します。



## 養殖漁業技術開発支援事業

27,070 千円 予算書 112 担当 産業振興課

阿多田地区の養殖業を支援するため、流通・養殖技術・ブランドの確立について研究する費用を補助します。  
平成27年度は、本格出荷に向けた生産・出荷体制の整備を中心に支援し、PR活動も行います。

## 産業振興奨励事業

2,985 千円 予算書 115 担当 産業振興課

新たに立地や設備投資などを行った企業に対して奨励金を交付する制度により、本市への企業立地、市内企業の設備投資及び産業振興の促進を図ります。

## 住宅・建築物耐震診断・改修補助事業

1,100 千円 予算書 118 担当 都市計画課

平成21年度に策定した耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月31日以前に着工された市内の戸建住宅の耐震改修を促進するため、耐震診断及び耐震改修の助成を行います。  
耐震診断費用の2/3(上限3万円)・耐震改修費用の一部を補助します。

## 市道改良事業

78,832 千円 予算書 122 担当 土木課

交通の安全と道路環境の整備を図るため、市内各地の市道について補修・改良などを行います。

御園3号線	21,000 千円	幅員狭小な一部区間について、道路の拡幅改良を行います。
新町白石1号線	22,575 千円	通学路の安全対策のため、大竹会館前の歩道未整備区間について歩道整備を行います。
本町元町1号線	10,275 千円	元町4丁目地区内の道路の側溝改良を行い、排水機能の向上及び暗渠化による道路幅員の有効利用を図ります。
青木線	14,595 千円	道路改良用地の買収などを行います。
西栄南栄2号線	5,250 千円	大型車両の交通量が多い路線について、舗装改良と側溝整備を行い住宅地における生活環境及び排水機能向上を図ります。平成27年度は測量設計を行います。
測量設計委託料等	5,137 千円	市道改良などに必要な測量及び設計を行います。

※ 事業費には事務費を含みます。

※ 26 ページの「平成27年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

## 県道改良事業(県営事業負担金)

11,000 千円 予算書 122 担当 監理課

県道の整備を行います。施工中の大竹湯来線、栗谷大野線及び国道186号の道路改良を行う予定です。県の事業であるため、市は県に対して一定割合の負担金を支出します。

### 港湾整備事業(県営事業負担金)

38,666 千円 予算書 125 〆 担当 監理課

広島県の施設である大竹港の整備を行います。  
平成27年度は、御幸地区の護岸工、排水機場改良のほか、東栄地区のヤード照明工、荷捌地舗装改良などを行う予定です。県の事業であるため、市は県に対して一定割合の負担金を支出します。

### 大竹駅周辺整備事業

35,540 千円 予算書 127 〆 担当 都市計画課

大竹駅を橋上駅化し、JR山陽本線で分断されている中心市街地の東西間を跨線橋(こせんきょう)の自由通路で結び、さらに駅東口側に交通広場を整備をする計画です。平成23年度に策定した「大竹駅周辺整備新構想」に基づき、併せて橋上駅舎の整備を行い、駅のバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を行っています。  
平成27年度は、駅舎補償予備調査等を行います。  
※事業費には事務費を含みます。

※ 26 ページの「平成27年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

### 南栄下白石線外1路線道路改築事業

33,200 千円 予算書 127 〆 担当 都市計画課

元町、本町、白石地区から国道186号及び国道2号へのアクセス道路を整備します。交通ネットワークを構築するとともに、沿道周辺における健全な市街地の整備及び良好な住環境の創出を促します。

※ 26 ページの「平成27年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

### 住宅リフォーム補助事業

4,000 千円 予算書 131 〆 担当 都市計画課

子ども、高齢者、障害者及びその同居者の住居内での事故防止、負担軽減、団らんなど生活環境の向上を図ることにより安全に安心して快適に住み続けられるよう、子育て世帯、高齢者世帯、障害者世帯の住宅リフォームに要する費用の一部を助成します。

### 御園市営住宅整備事業

195,825 千円 予算書 132 〆 担当 都市計画課

高齢者対策等住宅施策に対応した住戸を整備します。  
平成27年度は、宅地造成工事及び建築実施設計を行います。  
※事業費には事務費を含みます。

※ 26 ページの「平成27年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

### 岩国大竹道路用地取得事業

担当 監理課

引き続き、岩国大竹道路建設に伴う用地の先行取得に国と協力して取り組みます。  
(※国の事業のため、事業費は計上していません)

【公共下水道事業会計】

### 防鹿地区公共下水道整備事業

12,000 千円 公共下水道事業会計予算書 135 担当 上下水道局

居住環境の改善や公衆衛生の向上を図るため、防鹿地区の下水道整備を行います。当該事業により、公共下水道事業計画区域内における整備が、ほぼ完了します。

※ 26 ページの「平成27年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

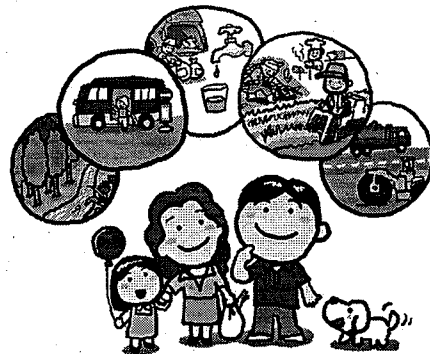
【公共下水道事業会計】

### 小島汚水中継ポンプ場改築更新事業

353,000 千円 公共下水道事業会計予算書 135 担当 上下水道局

大竹市下水道長寿命化計画に基づき、当該施設の分流ポンプ2台の改築更新を行います。

※ 26 ページの「平成27年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください



## 3 安全なまちづくり

防災・防犯・交通安全の対策

救急・防災体制の充実

### 新規 本庁舎エレベーター改修事業

2,261 千円 予算書 44 担当 総務課

設置後30年以上経過している本庁舎エレベーターを耐震及び地震対策機能を付加した設備に改修します。  
平成27年度は、設計業務を行います。  
※事業費には事務費を含みます。

### 新規 (仮称)阿多田防災公園整備事業

4,200 千円 予算書 138 担当 総務課

旧阿多田小学校グラウンドに地震や津波、高潮災害時の一時避難場所として防災倉庫やトイレ等を整備します。  
平成27年度は、設計業務を行います。  
※事業費には事務費を含みます。

※ 26 ページの「平成27年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

### 拡充 防災行政無線改修・整備事業

20,323 千円 予算書 138~139 担当 総務課

黒川地区、港町地区に防災行政無線の屋外拡声子局を新たに設置します。また、栗谷農林振興センターに設置している屋外拡声子局の避雷対策を強化します。  
※事業費には事務費を含みます。

### 消費者生活相談業務(大竹市消費生活センター)

3,179 千円 予算書 114 ページ 担当 産業振興課

架空請求、訪問販売、インターネット販売上でのトラブル、クーリングオフ相談など、専門相談員が消費生活に関する相談に応じるとともに、消費生活問題の啓発・PRを行い、トラブルを未然に防ぐよう努めます。

※ 28 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

### 水路改良事業

19,775 千円 予算書 124 ページ 担当 土木課

元町南栄排水路について、護岸改修が必要な下流区域の工事を行うことにより、河川機能の保全に努めるとともに、市内各地の水路などの補修・改良などを行います。  
※事業費には事務費を含みます。

※ 26 ページの「平成27年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

### 急傾斜地崩かい対策事業

10,600 千円 予算書 124 ページ 担当 土木課

急傾斜地崩かい危険個所において、住宅地背後の崖面崩かいを防止するための擁壁等を設置することにより、土砂災害から市民の生命を守り、安全で住みやすい生活環境の整備を図ります。  
平成27年度は、引き続き木野地区において崩かい対策工事を実施します。  
※事業費には事務費を含みます。

※ 26 ページの「平成27年度生活環境整備実施MAP」をご覧ください

### 急傾斜地崩かい対策事業(県営事業負担金)

3,500 千円 予算書 124 ページ 担当 監理課

栗谷地区及び立戸地区の急傾斜地崩かい対策事業を行います。立戸地区については、昨年8月の豪雨により崩壊した斜面の急傾斜地対策を実施します。県の事業であるため、市は県に対して一定割合の負担金を支出します。

### 消防救急デジタル無線整備事業

111,164 千円 予算書 136 ページ 担当 消防本部

電波法改正に伴い、消防救急無線をデジタル化するとともに、通信エリアを広げ災害対応の充実を図ります。

### 化学機動隊資機材整備事業

4,418 千円 予算書 135~136 ページ 担当 消防本部

重大な化学災害に対応するため、専門知識を持った精鋭部隊「化学機動隊(大竹ハズマツ)」が使用する資機材を整備します。万が一重大な災害が発生した場合、市民の安全を確保し、安心して暮らせるまちを構築することを目指します。



# 4 安心できるまちづくり

心が触れ合う福祉の充実

生涯元気な心と体づくり

## 新規 生活困窮者自立支援事業

17,269 千円 予算書 67 分 担当 社会健康課

生活保護に至る前の段階にある生活困窮者の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業等の自立の支援を行うための事業を実施します。

## 新規 住居確保給付金支給事業

1,778 千円 予算書 67 分 担当 社会健康課

離職により生活に困窮し住居を失った又は住居を失うおそれの高い人に、安定した就職活動ができるよう、期限付きで家賃相当額を支給します。

## 新規 生活見守りサービス支援事業

1,763 千円 予算書 67 分 担当 社会健康課

「ひとり死」を迎える可能性の高いひとり暮らし高齢者等が、不慮の事故や重大な病等により、行動の自由を失ったときに、できる限り早期に発見されるよう、大竹市ケーブルテレビ通信網を活用した安否確認のサービスを提供し、高齢者等が抱える不安の解消を図ります。

## 新規 子ども・子育て支援事業(施設型給付)

260,052 千円 予算書 78 分 担当 福祉課

平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度の実施に伴い、保育所及び幼稚園に対して施設型給付費を支払います。

【国民健康保険特別会計】

## 新規 データヘルス計画策定事業

2,808 千円 予算書 213 分 担当 社会健康課

国民健康保険被保険者の医療費データと特定健康診査の受診データを突合・分析し、大竹市国民健康保険が実施する保健事業の見直しを検討していきます。

## 拡充 健康増進事業

104,690 千円 社会健康課

生活習慣病やその他の心身の健康に関する事項について、正しい知識の普及により市民の健康意識を高めるとともに、医療機関等と連携して市民の健康の保持及び増進を図ります。

一般健康診査、肝炎ウイルス検診事業 【予算書87～88分】	10,835 千円	生活習慣病の予防や疾病等の早期発見・早期治療を促進するため、後期高齢者医療被保険者等を対象として一般健康診査を、満40歳以上で過去に肝炎ウイルス検診未受診者を対象として肝炎ウイルス検診を実施します。
がん検診事業 【予算書87分】	27,335 千円	がんの早期発見・早期治療を促進するため、満40歳以上の方（子宮頸がんは満20歳以上の女性）を対象にがん検診を実施します。 また、大腸がん検診は、自己負担額を無料とします。また、大腸がん・子宮頸がん・乳がん検診については、がん検診推進事業の対象の方に対して無料クーポン券を配付します。

【国民健康保険特別会計】 特定健康診査・ 特定保健指導 【予算書212号】	39,133 千円	40歳～74歳の国民健康保険被保険者に対して、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診及び保健指導を実施し、生活習慣病の予防、改善を図ります。 また、特定健康診査をより受けやすい健診にするため、自己負担額を無料とします。
健康手帳配付事業 【予算書87号】	648 千円	「自分の健康は、自分で守る。」意識を醸成するため、健康診査の受診記録などをまとめておける手帳を配付します。
健康相談事業 【予算書87号】	174 千円	健康診査の事後措置として、保健師や栄養士による個別相談を行い、病気の発生や重症化の予防を図ります。
訪問指導事業 【予算書87号】	18 千円	保健師などによる家庭への訪問指導を行い、健康に関する問題を総合的に把握し、生活改善などの必要な指導を行うことで、疾病の予防を図ります。
健康教育事業 【予算書87～88号】	699 千円	生活習慣病などの疾病を予防するため、健康教室やパンフレット配布などによる啓発を通じて、健康に関する正しい知識の普及を図ります。
後期高齢者医療人間ドック・脳ドック事業 【予算書87号】	3,532 千円	後期高齢者医療被保険者に対して、人間ドック・脳ドックの検診費用の一部を助成し、生活習慣病の予防及び疾病などの早期発見並びに早期治療を図ります。
【国民健康保険特別会計】 国民健康保険人間ドック・脳ドック事業 【予算書213号】	16,811 千円	国民健康保険被保険者に対して、人間ドック・脳ドックの検診費用の一部を助成し、生活習慣病の予防及び疾病などの早期発見並びに早期治療を図ります。
【一般会計・国民健康保険特別会計】 糖尿病対策推進事業 【予算書87,213～214号】	5,505 千円	脳卒中や心臓病など命に関わる病気のほか、失明や人工透析など日常生活に重大な支障をもたらす病気を発症させる原因となる糖尿病の予防又は重症化を防止することにより、市民の健康の保持及び増進を図るとともに医療費の増大を抑制します。

## 臨時福祉給付金支給事業

44,676 千円 予算書 66～67 号 担当 社会健康課

平成26年4月から消費税率が引き上げられたことにより、食品など生活必需品の支出割合の高い低所得者への対策として、平成27年10月から平成28年9月までの1年間分として、給付対象者一人につき6千円を支給します。

## 子育て世帯臨時特例給付金支給事業

15,673 千円 予算書 75 号 担当 福祉課

平成26年4月から消費税率が引き上げられたことに伴い、子育て世帯に対して、平成27年10月から平成28年9月までの1年分として、対象児童一人につき3千円を支給します。

## 乳幼児等医療費助成事業

48,013 千円 予算書 76 号 担当 保険介護課

乳幼児及び小学生に対する医療費の自己負担額の一部を助成することにより、疾病の早期発見と治療の促進を図り、乳幼児などの健やかな成長を促します。県制度の小学校就学前までの乳幼児に加え、市独自の制度として小学校就学中の児童の入院・通院に対しても助成を行います。

## 病児・病後児保育運営事業

8,950 千円 予算書 79 号 担当 福祉課

独立行政法人国立病院機構広島西医療センター内において、市内に住所がある、または保護者が市内の事業所に勤務する、満1歳から小学校3年生までの病児・病後児に対する保育を行います。

## 家庭児童相談事業

7,760 千円 予算書 79～80 担当 福祉課

0歳から18歳未満の児童における養護、障害、非行、育成などについて、専門知識を有する相談員が相談・助言を行います。

※ 27 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 子育て支援センター等運営事業

17,537 千円 予算書 81～82 担当 福祉課

地域全体で子育てを支援する環境づくりを行う拠点として、子育て支援センター（どんぐりHOUSE）、さかえ子育て支援センター、松ヶ原こども館があります。育児不安に対する相談指導や子育てサークルなどの育成・支援を行います。

※ 27～28 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

## 救急医療施設人材(助産師等)育成支援事業

142 千円 予算書 86 担当 社会健康課

広島西二次保健医療圏（大竹市・廿日市市）の拠点病院であるJA広島総合病院の産科医療体制などを充実させるため、不足している助産師及び看護師を育成・確保する同病院実施の人材確保事業（奨学金制度）に対して補助を行います。

## 予防接種推進事業

65,932 千円 予算書 86～87 担当 社会健康課

麻疹、風しんやポリオなどの人から人へ感染する恐れがある感染症の発生や蔓延を予防するため、予防接種を実施します。また、個人の感染防衛及び重症化予防のため、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌ワクチン接種などを実施します。

## 在宅寝たきり高齢者等訪問歯科診療促進事業

2,597 千円 予算書 88 担当 社会健康課

歯科医療を受けることが困難な高齢者等にとって、食事を自分で嚙んで食べることが、身体機能の維持に大きく影響することから、歯科医師による訪問歯科診療や、歯科衛生士による口腔ケアなどを行い、状態の改善や生活の質の向上を図ります。

## 妊婦乳幼児健康診査事業

20,510 千円 予算書 92～93 担当 社会健康課

妊婦並びに乳幼児の健康の保持・増進を図るため、妊婦健康診査並びに乳幼児健康診査の受診券を交付します。異常の早期発見を促すとともに、一層の母子の健康維持・増進を図ります。

## 妊産婦健康診査等支援事業

4,800 千円 予算書 93 担当 社会健康課

大竹に暮らしながら、安心して出産に備えることができるよう、出産費用などの一部を助成します。妊婦健康診査の受診回数に応じて助成することにより、妊婦健康診査の受診を促し、より安全な出産が行えるように支援します。

## 妊産婦歯科健康診査事業

1,039 千円 予算書 93 担当 社会健康課

妊産婦自身の口腔内の衛生状況を健康に保つとともに、生まれてきた子どものむし歯のリスクを下げるため、妊娠中、産後の妊産婦の歯科健康診査を実施します。

口腔衛生への関心を高めて生涯健康な歯をつくるきっかけとなることを目指します。

## 医療・介護予防一体推進事業

26,869 千円

担当 社会健康課・保険介護課

健康づくりや介護予防の取り組みを、様々な教室やプログラムを通じて一体的に行うことにより、健康的な市民生活の維持・促進につなげます。		
【国民健康保険特別会計】 健康づくり事業 【予算書213頁】	3,605 千円	日常生活に運動を取り入れ、健康的な生活が送れるように運動教室や自主グループへの講師派遣などを実施します。
【介護保険特別会計】 介護予防事業 【予算書292～293頁】	23,264 千円	介護が必要な状態になることを防ぎ、できる限り自立した生活が送れるよう支援します。

【介護保険特別会計】

## 地域密着型サービス事業

332,396 千円 予算書 290 頁 担当 保険介護課

介護が必要な方がなじみの地域で生活できるようなサービスを提供します。基本的に、大竹市民のみが利用可能な介護保険の対象事業所・施設で行われるサービスです。
--

【介護保険特別会計】

## 地域包括支援センター運営事業

34,366 千円 予算書 293 頁 担当 保険介護課

地域の高齢者に対して、介護が必要な状態にならないよう介護予防ケアマネジメント、介護保険外のサービスを含む高齢者や家族への総合的な相談・支援を行ったり、高齢者の虐待防止などの権利擁護を行うほか、ケアマネジャーへの支援などを行います。 また、生活支援コーディネーターを配置し、生活支援の担い手の養成やサービスの開発を進めます。
--

※ 29 ページの「各施設のご案内」をご覧ください

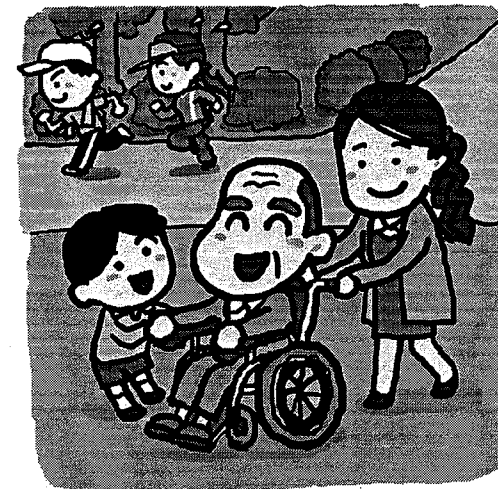
【介護保険特別会計】

## 循環型認知症医療・介護連携システム推進事業

18,153 千円 予算書 295 頁 担当 保険介護課

認知症疾患医療センターと地域包括支援センターの機能を統合した認知症疾患医療・地域包括支援合併型センターをモデル的に整備します。 また、認知症初期集中支援チームによる認知症高齢者や認知症が疑われる方の初期の包括的、集中的な支援のほか、認知症地域支援推進員による相談業務や認知症の理解促進のための活動、認知症地域連携パスの活用等により、在宅医療・介護サービスの円滑な連携を図ります。
--

※ 29 ページの「各施設のご案内」をご覧ください





# 5 心にゆとりを感じるまちづくり

心の豊かさを育む取り組み

大竹らしさを育む文化と交流

きれいで快適なまちづくり

## 新規 晴海臨海公園管理事業

19,770 千円 予算書 129~130 担当 都市計画課

市内の方はもとより市外の子どもからお年寄りまでの多くの方が訪れ、楽しめる、スポーツやレクリエーションの場を提供します。

## 新規 大竹会館耐震診断事業

6,300 千円 予算書 159 担当 生涯学習課

建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正に基づき、耐震診断の実施と結果報告が義務付けとなる大竹会館の旧館部分の耐震診断を実施します。  
※事業費には事務費を含みます。

## 新規 アゼリアホール天井改修事業

39,045 千円 予算書 159~160 担当 生涯学習課

地震時の安全対策のため、アゼリアホールの吊り天井の脱落を防止する改修を行います。  
※事業費には事務費を含みます。

## 拡充 無形文化財伝承者育成事業

200 千円 予算書 155 担当 生涯学習課

伝統的に地域で育まれてきた無形文化財を後世に保存・継承するため、後継者の人材育成を支援します。

## 環境美化推進事業

3,000 千円 予算書 89 担当 環境整備課

きれいで快適なまちづくりを推進するため、地域に密着した環境美化活動に取り組んでいる「公衆衛生推進協議会」の活動を引き続き支援します。

また、ごみステーションの維持・管理をはじめ啓発看板の配付や花いっぱい運動などの事業への取り組みを支援します。

## 地域不法投棄対策事業

9,313 千円 予算書 89 担当 リサイクルセンター

地域の快適な生活環境を守るため、自治会連合会、公衆衛生推進協議会、警察署及び庁内関係課との緊密な連携を図るとともに、地域住民の皆さんの協力を得ながら、不法投棄防止の諸施策を積極的に推進します。

このため、不法投棄の防止に向けた広報・啓発活動や監視パトロールの強化、既設の監視カメラの設置効果等の検証による計画的・実効的な増設などに取り組みます。

また、公衆衛生推進協議会の不法投棄防止に向けた活動を引き続き支援します。

## ごみ減量化・資源化促進事業

16,100 千円 予算書 98～99 担当 リサイクルセンター

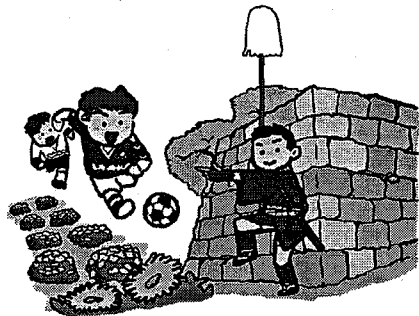
一般家庭から排出されるごみの減量化を図ることなどを目的に、平成25年10月から「もやすごみ」及び「粗大ごみ」にごみ処理手数料を導入しました。今後、引き続きごみを出さない（リデュース）、ごみを再使用する（リユース）、ごみを資源として再生利用する（リサイクル）の3Rの実践について、広く周知・啓発するなどの取り組みを積極的に推進します。

具体的には、適正な分別の徹底や資源としての有効活用に関する取り組みの「ごみ収集カレンダー」及び市広報への掲載、生ごみ処理容器の普及・促進などにより、家庭ごみの減量化に取り組めます。

## 小方学園プール開放事業

4,500 千円 予算書 167 担当 生涯学習課

小方学園のプールを広く市民に開放し、市民の健康増進と水泳振興を図ります。



# 6 行政・社会の仕組みづくり

## 新規 固定資産台帳整備及び公共施設等総合管理計画策定事業

7,000 千円 予算書 41 担当 企画財政課

公共施設等の全体の状況を把握し、本市を取り巻く現状及び将来の見通しを分析するとともに、これを踏まえた公共施設等の管理の基本的な方針を定めることを内容とする公共施設等総合管理計画の策定及び固定資産台帳の整備を2ヶ年で行います。

## 協働のまちづくり推進事業

3,119 千円 予算書 46 担当 自治振興課

市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業を公募し、助成を行うことにより、市民活動の自主性の向上を図ります。

平成27年度は26年度に引き続き、施設整備などのハード事業も対象とします。

## 番号制度システム整備事業

73,897 千円 予算書 47~48 担当 企画財政課

社会保障・税番号制度の導入により、平成27年10月から個人番号通知が、28年1月から番号利用が、それぞれ開始される予定です。これに対応するため、26年度に引き続き、既存基幹業務システム等の改修を行います。

## コミュニティづくり推進事業

7,960 千円 予算書 48 担当 自治振興課

地域の連帯を深め、住みよい地域社会の形成に向けて取り組んでいるコミュニティづくり推進協議会の活動に対して助成を行います。  
「コイ・こいフェスティバル・イン・おおたけ」の開催を支援するとともに、市民発信型の事業運営を目指した取り組みを進めます。  
また、宝くじの財源を活用し、コミュニティ推進団体が行う備品の整備に対して補助します。

## 地区集会所等整備補助事業

8,672 千円 予算書 49 担当 自治振興課

コミュニティ活動の拠点である自治会が設置する地区集会所の整備を支援することで、コミュニティ活動を促進し市民自治の振興を図ります。  
また、地区集会所だけでなく、自治会が所有している施設・設備などについても、地域住民が主体的に補修（新設を含む）する場合は、原材料費を補助します。

## 土地開発公社経営健全化事業

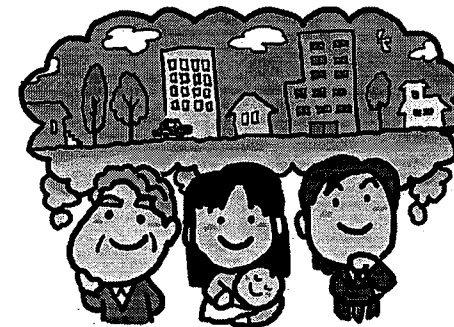
10,565 千円 予算書 118 担当 監理課

土地開発公社が保有する土地の簿価上昇抑制のため、債務保証対象土地などに係る借入金の利子補給を行います。

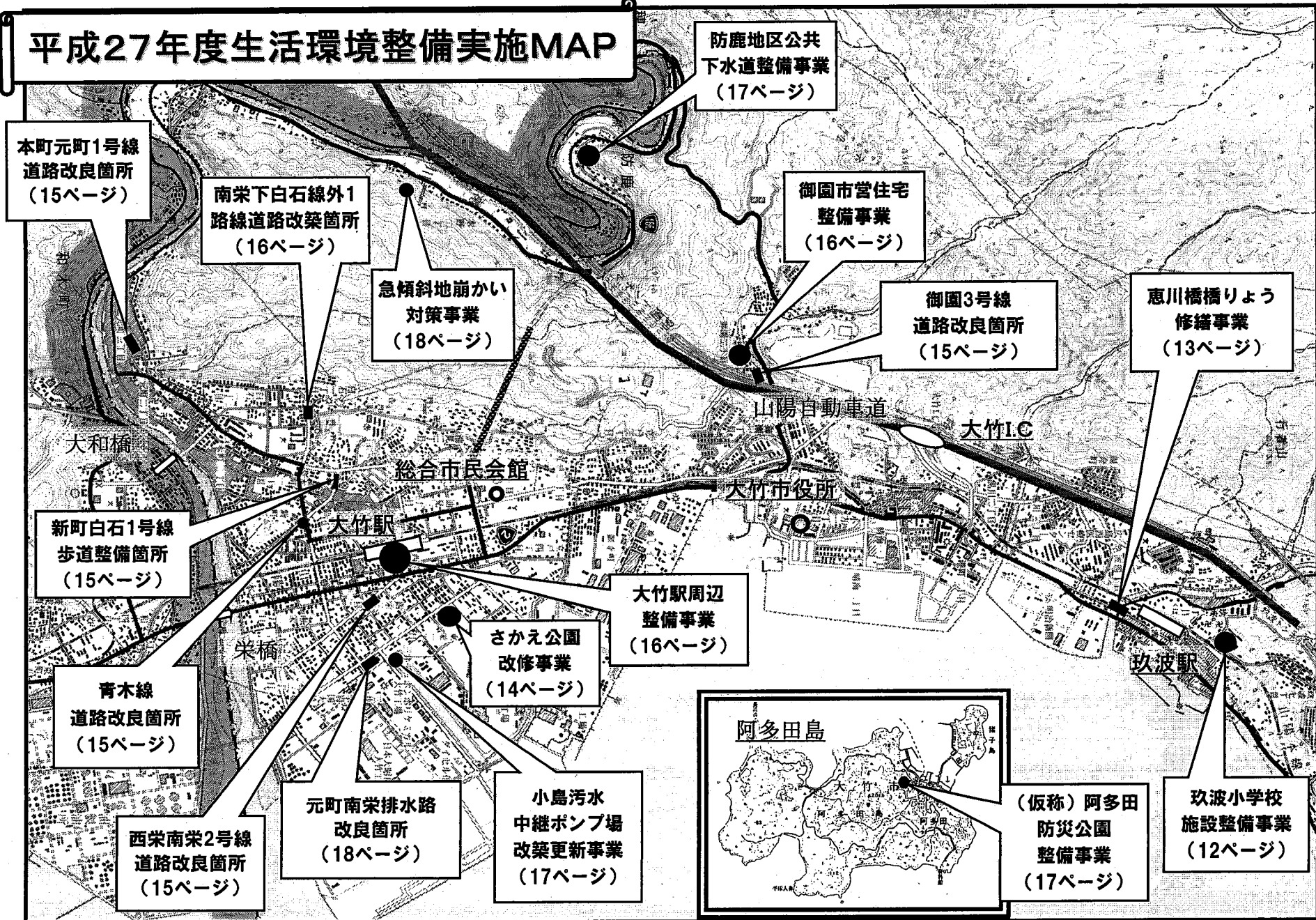
## 土地造成支援事業

224,689 千円 予算書 119 担当 企画財政課

大竹工業団地に立地した工場に賦課される固定資産税額に相当する額及び小方ヶ丘の土地・家屋・償却資産に係る固定資産税額に相当する額の26.5%と従来支援分（95,800千円）に加えて、土地造成特別会計に関連のある土地売払収入の一部を土地造成特別会計へ繰り出します。



# 平成27年度生活環境整備実施MAP



## 各施設のご案内

### 放課後児童クラブ

12ページ

- ・あすなる児童クラブ（玖波七丁目1-1（玖波小学校内）※9月からは玖波中学校内）
- ・みどり児童クラブ（小方ヶ丘1-2（小方学園内））
- ・ひかり児童クラブ（白石二丁目1-2（大竹小学校内））

【対象】市内の小学生であって、保護者が仕事等の理由により昼間家庭にいない児童、及びこれに順ずる児童

【利用時間】〈平日〉下校時～18時

〈土曜・長期休暇（春・夏・冬休み）・学校行事等の代休日〉8時～18時

【問い合わせ先】生涯学習課青少年育成係（TEL53-5800）

### 大竹市こども相談室

13ページ

〈相談業務〉 いじめ、不登校などの教育に関する相談、子どもの性格上の問題、非行、児童への虐待などの子どもについての様々な相談に応じます。

〈適応指導〉 学校と家庭の中間的な役割を担い、児童・生徒の学習する場の提供や、自立に向けたきめ細やかな支援を行います。

【場所】大竹市立戸一丁目8-5（総合市民会館・山側）

【利用時間】月～金曜日の8時30分～17時15分

【電話】54-0021（こども相談室）

### 大竹市家庭児童相談室

21ページ

〈相談業務〉 家庭で養育困難な児童の養護、障害、非行、育成に関する、0歳から18歳未満の子どもについての様々な相談に応じます。

【場所】大竹市小方一丁目11-1（大竹市役所内）

【利用時間】月～金曜日の9時～16時

【電話】59-2151（家庭児童相談室）

59-2148（福祉課児童係）

### 子育て支援センター「どんぐりHOUSE」

21ページ

【対象】市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方

【場所】大竹市立戸一丁目8-5（総合市民会館・山側）

【利用時間】月～金曜日 10時～16時30分

【問い合わせ先】子育て支援センター（TEL54-0021）

福祉課児童係（TEL59-2148）

## 各施設のご案内

### さかえ子育て支援センター

21ページ

- 【対象】 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、子育てボランティアの方  
 【場所】 大竹市西栄三丁目12-25(さかえ保育所敷地内)  
 【利用時間】 月～金曜日 10時～16時30分  
 【問い合わせ先】 さかえ子育て支援センター(Tel53-9766)福祉課児童係(Tel59-2148)

### 松ヶ原こども館

21ページ

- 【対象】 乳幼児・小中学生と保護者、子育てボランティアの方  
 【場所】 大竹市松ヶ原町445-2  
 【利用時間】 月・水・金曜日 10時～16時(※臨時休館日有り(月1～2日程度))  
 【問い合わせ先】 松ヶ原こども館(Tel57-8333)福祉課児童係(Tel59-2148)  
 【ホームページアドレス】 <http://honobonon.client.jp/>

### 病児・病後児保育室「にっしーくんハウス」

20ページ

- 【対象】 満1歳以上から小学校3年生までの保育所、幼稚園及び小学校に在籍している病気または病気の回復期にある児童で
- ①市内に住所を有する児童
  - ②保護者が、市内にある事業所に勤務している児童
- 【場所】 大竹市玖波四丁目1番1号(独立行政法人国立病院機構広島西医療センター内)  
 【利用料金】 対象児童①の場合1,000円 対象児童②の場合2,000円  
 (大竹市民のみ生活保護世帯、市民税非課税世帯には利用料免除の制度があります。)  
 【利用時間】 月～金曜日(祝日、年末年始(12/29～1/3)を除く) 8時15分～18時00分  
 【問い合わせ先】 福祉課児童係(Tel59-2148)

### 大竹市消費生活センター

18ページ

- 《相談業務》 訪問・通信・電話勧誘販売等による売買・契約に関するトラブル、はがき、携帯電話、インターネットを使った不当・架空請求、その他消費生活全般、クーリングオフについての相談など
- 【場所】 大竹市小方一丁目11-1(大竹市役所内)  
 【受付時間】 火・金曜日 9時～12時, 13時～16時  
 【電話】 57-3236(消費生活センター)

## 各施設のご案内

### 大竹市地域包括支援センター

22ページ

- 〈事業内容〉
- 要介護認定で「要支援1・2」と認定された方や二次予防対象者の介護予防ケアプランの作成などの介護予防ケアマネジメント
  - 高齢者や家族に対する総合的な相談・支援事業(介護保険外のサービスを含む)
  - 高齢者に対する虐待の早期発見・防止, 成年後見制度の活用などの高齢者の権利擁護事業
  - 関係機関や地域における連絡・協力体制の構築と支援困難事案のケアマネジャーへの支援

【場所】 大竹市西栄二丁目4-1(総合福祉センター(サントピア大竹)内)

【利用時間】 月～土曜日の8時30分～17時15分      【電話】 53-1165(地域包括支援センター)

### 広島県西部認知症疾患医療・地域包括支援合併型センター

22ページ

- 〈事業内容〉
- 認知症に関する総合的な相談受付, 対応
  - 認知症に関する総合的・専門的な診断, 治療
  - 認知症初期集中支援チームによる認知症の方(認知症の疑いのある方を含む)及びその家族の初期段階における包括的・集中的な支援
  - 認知症の理解促進に向けた相談会, 講演会などの各種事業

【場所】 大竹市玖波五丁目2-1(メープルヒル病院内)

【利用時間】 月～金曜日(祝日を除く)の9時～17時      【電話】 57-7461(広島県西部認知症疾患医療センター)

## ◇問い合わせ先一覧◇

総務部	
総務課 《Eメール》	総務係 59-2120
	防災係 59-2119
	職員秘書係 59-2122 soumu@city.otake.hiroshima.jp
企画財政課 《Eメール》	企画係 59-2125
	財政係 59-2121
	広報統計係 59-2124 kikaku@city.otake.hiroshima.jp
産業振興課 《Eメール》	農林水産振興係 59-2130
	商工振興係 59-2131 sangyu@city.otake.hiroshima.jp

市民生活部	
自治振興課 《Eメール》	自治振興係 59-2142
	人権推進係 59-2145 jichishinko@city.otake.hiroshima.jp
市民税務課 《Eメール》	収税係 59-2127
	市民税係 59-2128
	固定資産税係 59-2129
	戸籍住民係 59-2143 shiminzeimu@city.otake.hiroshima.jp
環境整備課 《Eメール》	環境整備係 59-2154
	kankyo@city.otake.hiroshima.jp
	リサイクルセンター 52-5101
《Eメール》	kankyo-rc@city.otake.hiroshima.jp

健康福祉部	
福祉事務所	
社会健康課 《Eメール》	社会係 59-2152
	保健予防係 59-2140
	健康増進係 59-2153
	syakaikenko@city.otake.hiroshima.jp
福祉課 《Eメール》	障害福祉係 59-2146
	児童係 59-2148
	保護係 59-2147 fukushi@city.otake.hiroshima.jp
保険介護課 《Eメール》	国保年金係 59-2141
	介護高齢者係 59-2144 hokenkaigo@city.otake.hiroshima.jp

建設部	
監理課 《Eメール》	庶務係 59-2160
	用地係 59-2161 kanri@city.otake.hiroshima.jp
土木課 《Eメール》	管理係 59-2163
	維持係 59-2164
	工務係 59-2165 doboku@city.otake.hiroshima.jp
都市計画課 《Eメール》	計画整備係 59-2167
	建築住宅係 59-2168 toshikei@city.otake.hiroshima.jp

教育委員会事務局	
総務学事課 《Eメール》	教育総務係 59-2184
	教育指導係 59-2185
	こども相談室 54-0021
	給食センター 57-7626 sougaku@city.otake.hiroshima.jp
生涯学習課 《Eメール》	社会教育係 53-5800
	青少年育成係
	施設スポーツ係 53-6677 seigaku@city.otake.hiroshima.jp

消防本部 《Eメール》	53-7708 shoubou@city.otake.hiroshima.jp
----------------	--

選挙管理委員会事務局 《Eメール》	59-2188 senkyo@city.otake.hiroshima.jp
----------------------	---

監査事務局 《Eメール》	59-2189 kansa@city.otake.hiroshima.jp
-----------------	--

農業委員会事務局 《Eメール》	59-2190 nougyo@city.otake.hiroshima.jp
--------------------	---

上下水道局 《Eメール》	業務課 59-2191
	工務課 59-2192 jouguesui@city.otake.hiroshima.jp

議会事務局 《Eメール》	議事係 59-2183
	庶務係 gikai@city.otake.hiroshima.jp

会計課 《Eメール》	59-2182 kaikai@city.otake.hiroshima.jp
---------------	---

【代表電話】

59-2111

【FAX】

57-7130(本庁)

【Eメールアドレス(代表)】

info@city.otake.hiroshima.jp

【ホームページアドレス】

http://www.city.otake.hiroshima.jp